

卒業制作 中間報告書

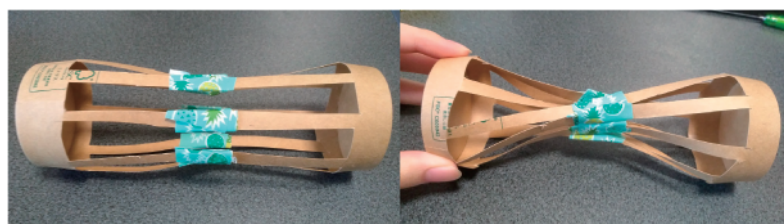
長嶋ゼミ

1724014 梅田那菜



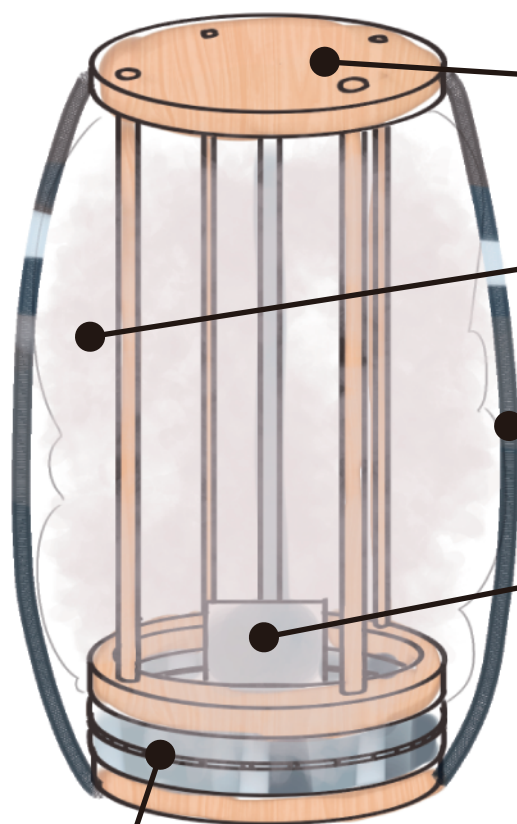
筋肉造形部に使用予定だったバイオメタルファイバーが仕様に合わなかったため、別の機構を用いることに決定。

完成形を想像しつつ、繰り返し試作と実験を行っている。



▲ 仕組みのモデル

制作案概要 | ※詳細は次頁



木材による造形物

強度の確保と枠組みとしての働き

緩衝材(?)

膨らませておく働き
素材は未決定

精密スプリング

上のモデルにおいてねじれている部分

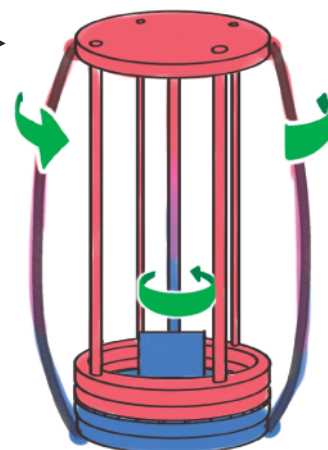
ステッピングモーター

回転する動力

ベアリング

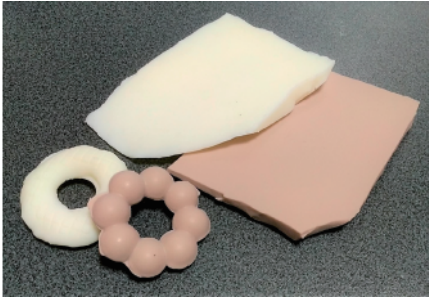
スムーズに回転をする

<イメージ>



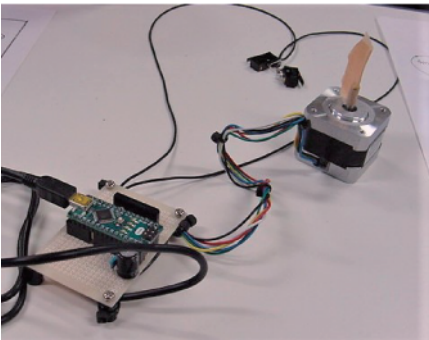
赤・青同士で
固定

| 進捗 |



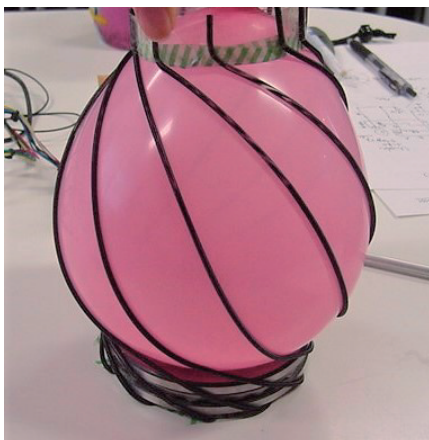
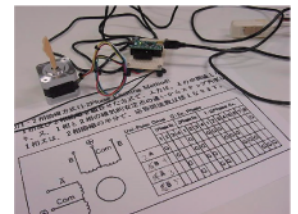
『人肌のゲル』試作

造形物の皮として使用予定の『人肌のゲル』を試用。硬度の異なる2種を比べ、より柔らかい方を実際に使用する。顔料は色が濃いため、ごく少量で使用することとする。



ステッピングモーターの動作

動力となるステッピングモーターの動作に関して、先生に制作していただいた。Arduinoを通じてMaxでも動作し、過剰回転による破損防止のスイッチが付属している。骨組みが完成次第、組み込む予定。



プロトタイプ

機構について相談を重ね、今のカタチで検討中。
ある程度の締め付け力と伸縮性のため、4種の太さの精密スプリングを重ね合わせた。
重量があり、動作の安定するベアリングで今後制作を続ける。



| 予定スケジュール |

11月

12月

1月

- 骨組み木工制作

- 緩衝材部分の選定

- 動作部の組み上げ

- 手の造形の制作

- Maxパッチの制作
Myoの調整

- 制作まとめ